

シリーズ化し、各事業所における意思決定支援の取り組みを紹介しています。
今回は「甘露保育園」の取り組みを紹介します。

甘露保育園の日常

12月の発表会に向けて～(3・4才児)



昨年度の発表会を振り返りながら、どんなことがしてみたい？と聞くと、「絵本のお話をやってみたい。」「みんなで歌を歌ったらいいんじゃない？」「新しい歌は覚えられないから嫌だな…。」など、様々な意見が飛び交います。



後日、出た意見をもとに、子どもたちが日頃から楽しんでいた『ドーナツ屋さんごっこ』と絵本『三びきのやぎのからがらどん』をテーマにした劇をすることに決定です！



全員で二つの劇の大まかな内容を共有し、それぞれイメージが持てたところで、どちらの劇に取り組みたいかを個々に聞き取り、劇の内容ごとに分かれて話し合いを開始しました。



サークルタイムで話を進めます。「ドーナツ屋さん、森の中にあるってことは？」「動物のお客さんにしよう。」「お客さんとお店屋さんが必要だね。」など、子どもたちの中から様々なイメージやアイデアが飛び出しました。(劇 森のドーナツ屋さん)



「トロールをやっつけるのはかわいそうだから、おどろかすのはどう？」「仲良くなって草を食べたい。」「草を食べる音はジャクジャクがいいな！」など、絵本とは違うオリジナルの話に展開していきました。(劇 がらがらどんとトロール)



個々に思いを聞き取ったり、サークルタイムで意見を出し合ったり、場面ごとに合った方法で子どもたちの思いを確認しながら、配役・セリフ・歌やダンスの振り付けなども子どもたちと一緒に考え、進めてきました。



現在、甘露保育園では「子ども一人ひとりの主体性を尊重する保育」の充実を目指し、最良の方法を探っています。主体性とは、「子ども自身が方法や何をすべきかを考え目的を達成していくこと」「自分の意思で行動を決定すること」とされており、私たち保育士は、子ども自身が遊びを発展・充実させていかれるよう子どもとの対話や反応をもとに、子どもの興味・関心に沿った環境設定の工夫を意識し、日々保育を行っています。その中で、発表会などの行事のあり方も変化し始めています。今までの発表会といえば、保育士が子どもたちにできそうなテーマを考え、子どもたちは決まっているセリフや踊りを覚えたものを披露するというのが主流でしたが、今年度は主体性保育の視点を取り入れ、新たな試みをしてみました。初めての試みだったこともあり、進めていく中で私たち保育士の中には悩みや戸惑いが生じる場面も多くなりましたが、何より子どもたちが話し合いや劇遊びに生き生きと参加していることが印象的でした。こういった姿が見られる背景には「子どもたち自身が自分で考えながら決めてきた」ということがあるのではないかと感じています。

甘露保育園 田中 沙綾香



きらきら星 みいつけた！ ともいきライフ月影

★★★★★

きんきん ほっこり
エピソード

★★★★★

「同じ服買ったよ！かわいいなあ。」
移動販売会でお揃いのトレーナーを購入されたお二人。
お互いのお誕生日には好きなケーキを選びお祝い
しています。
これからも仲良く年を重ねてくださいね。



「ありがとう。また会おうな。」
女の子ならお人形かな？
地域の小学校や保育園との交流会で子ども達ひとり
ひとりに塗り絵をプレゼントしたいと毎日コツコツ
仕上げているらっしゃいました。
誰かを思う気持ち、素敵でした。



“その人らしく、
誇りを持って生きていけるように
「らしく」を大切に”をテーマに
日々のきらきらしたご様子をお伝えします。



“ハフハフ”「旨いなあ。」

紅葉が綺麗な季節、ご実家に帰省されました。
ご家族の愛情こもったお料理を口いっぱい頬張られました。
食べ慣れた思い出の味にお箸が止まりません。
故郷の雪が解ける頃、また会いに帰りましょうね。



はっけよい！

相撲の大ファン。いつも相撲雑誌を大切に持ち
歩かれ、お昼の後は相撲のDVD鑑賞が日課です。
相撲取りましょうとお願いすると、
嬉しそうに取ってくれます。
そして、中々強いです！



「いくよー！」

お散歩が好きな利用者さん。
気分が乗らないとダメと断られてしまう日もありま
すが、いざ出掛けるとこのきらきらした笑顔で歩か
れます。皆と手を繋がれ元気いっぱい楽しい時間を
過ごされています。



道標 (みちしるべ)

グループホーム職員 木下 文夫



12月の別名は「師走」です。その由来はいくつかあるようですが「師」はお坊さんのことで、この頃は各家庭で法事が行われるため忙しく、お坊さんも忙しく走り回るからという説が有力です。

また、21日は一年で昼の長さが最も短くなる「冬至」です。冬至は一陽来復とも呼ばれ、この日にカボチャやれんこん、にんじんなど、「ん」のつく食べ物を食べると運が呼び込めるといわれているそうです。ここへ来てイスラエルとヒズボラの停戦合意というニュースが入ってきました。これ以上の殺戮は止めて欲しいという全世界の人々の切なる願いが、本当の形になって欲しいと願います。

作文を通じて豊かな人権感覚を育む「第43回全国中学生人権作文コンテスト県大会」の入賞作文が決まり新聞紙上に掲載されたので早速読んでみました。今回は日を置いて複数回読んでみるというように読み方を変えてみました。すると、新たな発見やもっと知りたいという欲求が出てきたりして、自分でも驚きました。

最優秀賞は2本あり、「想像することの大切さ」と題する諏訪清陵高付属中1年の真壁太一さんの作文には大いに感心させられました。作文は「皆さんは、困っている様子の人を見たらどうしようと思いますか。」で始まり「人間は、一人一人環境や考え方、大切にしているものが違います。また、人間には、誰しも人間らしく生きる権利があります。それらのことをしっか

りと理解した上で、相手の立場に立ち、想像し、認め合うことが、お互いを尊重する上で大切なことだと考えます。」とまとめています。皆さんもアクセスしてみてくださいはいかがでしょうか。

ある日の事、家の斜向かいにあるクリニックに市内の障がい者支援施設の利用者さんが通院に来ていました。私は偶然に2階のベランダで何気なくその様子を見ていたのです。利用者さんには不安があったらしく急に大きな悲鳴を上げ、動きも徐々に激しくなってきました。支援にあたっていた女性の支援員さんはそんな彼に寄り添い、道の真ん中でじっと肩を抱きしめて気持ちが落ち着くまで動こうとしませんでした。

ハートネットTVというNHKの番組で、強度行動障害のある方が施設難民になっているという報道がありました。施設には空きがなく受け入れができず、要支援者はデイサービスやショートのできる支援施設を転々としているのが現実で、親の高齢化もあり限界が来ている。どうしたらいいのか不安を抱えているという内容でした。コメンテーターは国の障がい者福祉施策の方向性が地域生活支援への転換を必要以上に求めているため、真のニーズに対応できていないと話していました。私は信濃毎日新聞の「言葉にならないメッセージ～強度行動障害の現場から～」という連載を最近読むようになりまして。読んでいるうちに自分には知れないことが多いなと考え込んでしまいましたが、情報や知識が向こうからやってくる時の学びとその感覚に向き合う時に、本当の自分を作りあげ、血肉になるのだと経験則からもそう思っています。

言葉にならない
メッセージ
強度行動障害の現場から



味遊カフェニュース



リニューアルオープン

少しでもお客様が気持ちよく味遊カフェで過ごしていただけるように…座席、レジの位置、スイーツの場所が変更になりました！！



また、新たに『ランチ券』を作りました。ランチご希望の方(テイクアウトも含めて)は、ご来店時にランチ券をお取りください。ご不明な点は、スタッフにお声かけくださいね☆

クリスマスの可愛いお菓子も
随時取り揃えております。



リレーコラム

前回の蓮の音こども園の石井 綾華さんからバトンを受けとったのは 甘露保育園の 田中 沙綾香 さんです。

蓮の音こども園の石井先生からバトンを受け取りました、甘露保育園の田中です。何を書こうかと悩みに悩み…今回は、上田市内で見つけた個人的におすすめしたいグルメ情報を紹介させて頂きたいと思います！

1軒目は、『kadokko (かどっこ)』さんです。薪窯で焼いたピザが美味しいお店になっています。定番のマルゲリータから野菜をふんだんに使ったピザ、フルーツピザと『kadokko (かどっこ)』さんでしか食べられないピザがあるのも魅力の一つです。古民家をリノベーションして作られているので、そういった雰囲気のお店が好きなお方にもおすすめです。

2軒目は、『(おにぎり専門店) こめむすび』さんです。名前の通り、こちら辺では珍しいおにぎりのお店です。店内での飲食が可能で、テイクアウトも受け付けていました。通常のメニューだけでなく期間限定のメニューもあり、ラインナップが豊富で何を食べるか悩みまくりでした。おにぎりが美味しいのはもちろん、具がたっぷりに入った豚汁もおすすめです。店内で食べる際には、ぜひ！一緒に豚汁も注文してみてください。

3軒目は、『(パンケーキ屋さん) CAFE Poli』さんです。スフレパンケーキのお店で、プルプルふわふわなパンケーキ(厚めでした)が3段重なっていて、インパクト大!!ですが、甘さは控えめなのでペロリと食べられちゃいます。また、旬の食材を使った期間限定メニューも旬の時期ごとに更新されているので、つい再度訪れたいくなってしまおうお店です。

3店舗ともインスタ等でお店の名前を検索すると、美味しそうな写真がたくさん見られます。お店の詳細も見られるので、もしよかったら覗いて見て下さい♪

田中さんありがとうございました！

さて次回のリレーコラムは…

『事務局 石倉 三鈴 さん』です。

よろしくお願いします！

今すぐホームページをチェック! ⇒

編集
後記

12月に入り令和6年も後わずかになってきました。1年を振り返って皆さんは、どのような1年でしたでしょうか?世間の状況もコロナ禍に比べてかなり戻って来ているのではないのでしょうか。それ以上に人の動きが多くなっているような気がしています。先日、広報委員会で写真の撮り方や見せ方という事で、ともいきライブ月影支援員の小林祐子さんを講師に勉強会を実施しました。(私は、所用で欠席でしたが…)写真1枚で物の価値が上がったり、人の表情も豊かになったりと皆さん勉強になったのではないのでしょうか。時には、プロからの指導も必要だと感じました。さて、今年も後わずかと言いましたが、今年に出来ることは、今年中に済ませておきましょう。新たな令和7年を迎えるために…

広報・情報処理管理委員長 大野 政博



<https://ueda-mei-shoukai.or.jp/>

社会福祉法人
上田明照会

